



今学期も元気に頑張りました！ ～終業式～

本日で86日間の2学期も無事終えることができました。今学期の皆さんの活躍、頑張りに心から拍手を送ります。

第2学期終業式 式辞 ※ 抜粋

さて、今日のお話のキーワードは「準備」。12月22日（日）は、「冬至」でした。今日は、この冬至にちなんだ話をします。

冬至は皆さん知っているとおり、太陽の位置が1年で最も低くなり、昼間が最も短くなる日です。この日には、昔から冬至の「と」にちなんで、唐茄子（とうなす）や豆腐など「と」がつくものを口にする習慣があります。唐茄子とはカボチャのことで、この時期にとれるものの中では栄養価が高いので、食べるとよいとされています。この日の夕食にカボチャが出たところも多いと思います。この日が一年で最も昼が短くなる日ということは、昨日からまた昼間の時間がどんどん長くなっているということです。つまり春に向かっての準備が静かに、しかし確実に始まったということです。

私たちの生活に当てはめて考えてみましょう。2学期の次は何学期ですか？ そう、3学期ですよ。1年の総仕上げの3学期であるとともに、新しい学年に向けた「0学期」です。つまり、1月から1年生は、「2年0学期」、2年生は「3年0学期」、3年生は「高校生0学期」です。

それぞれの「4月からの自分」に向けた「準備の学期」です。何ごとにも、「本番での勝負」が来る前に、実は「準備の勝負」があります。準備の勝負とは多くの場合、「スタート時期の勝負」です。早くスタートすれば、その分早くゴールに着くことができるからです。でもこのスタートは、ピストルが鳴りません。そのことに気付いた人から静かに、でも着実にスタートしています。冬至から春の一部が始まるように、未来に起こる結果の多くは、今既に起きているのです。結果はいきなり起きるのではなく、現在、皆さんが準備しているものが形になって表れてくるだけなのです。4月からの新しい生活を意識することで、今の生活の一日一日、一步一步が助走となり、新生活でのジャンプに繋がります。

では、どうすることが0学期を迎えることになるのか。ヒントは2つです。

- ① 未来の自分の姿を想像する（一歩先を考える）
- ② その時にしているはずのことを行動に移す（一歩前に出る）

具体的な行動は自分で考えましょう。勉強かもしれません。部活動かもしれません。友達との関係かもしれないし、自分自身の生活を見直す作業かもしれません。一人一人持っている課題は違います。要は、「私の課題はこれ！ だから来年の春までにこうしたい！」と明確に意識することです。春を迎えたときに、自分自身の課題をクリアして、ゴールテープを両手を挙げて切り抜けている自分をイメージしましょう。そして4月から本当の1学期をスタートさせましょう。

この冬休みには、自分で使える時間が格段に増えます。自分で健康と生活時間の管理に気を配り、新年、それぞれの「0学期」にはまた、元気な笑顔で会いましょう。

西郷第二中学校長 小林 敏史

＜冬休み明けの予定＞

日曜	主 な 行 事
6 月	冬季休業日
7 火	冬季休業日
8 水	第3学期始業式 プレスベリングコンテスト（4校時） ※給食なし、12：45一斉下校
9 木	
10 金	スベリングコンテスト（6校時） 各種委員会



◇◇ 今週の言葉 ◇◇

チャーリーブラウン

「いつの日か願いが叶うといいな・・・」

スヌーピー

「そうなるように生きていかないとね・・・」

～ シンプルだけど、的を得ていますよね ～

